

第 45 回大阪市環境審議会 議事要旨

日 時：令和 7 年 4 月 25 日（金）14 時 00 分～15 時 35 分

場 所：環境局 第 1・2 会議室（一部委員は WEB にて参加）

議 題：

- （1） 大阪市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕の改定について（諮問）
- （2） その他

出席者：

- （委員）下田会長、今西会長代行、石川委員、岩崎委員、貫上委員、曾谷委員、高村委員、辻岡委員、永田委員、西尾委員、野上委員、春名委員、日裏委員、藤田委員、細井委員、松井委員、松本委員
- （事務局等）井原環境局長、井上環境局理事兼エネルギー政策室長、河合環境施策部長、北浦エネルギー政策担当部長、川戸環境施策課長 他

配付資料：次第

配席図

大阪市環境審議会委員名簿

資料 1 地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕の改定について

参考資料 追加的に実施する部門別の脱炭素化施策の一例

【議事要旨】

- ・井原環境局長から審議会へ大阪市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕の改定について、諮問した。
- ・資料 1、参考資料により、大阪市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕の改定について、事務局が課題や方向性、スケジュール等について説明を行い、意見をいただいた。

【委員意見】

- 屋上緑化やグリーンカーテン、植樹等、吸収減対策にもなる緑の活用を検討されたい。
- 賃貸住宅では、充電設備設置や建物改修等、建物所有者への働きかけが必要。
- 熱中症対策として、エネルギー転換だけでなく、エアコンを使えない家庭があることも考慮する必要がある。
- 各部門で削減余地があるか等の検討のためにも、当初計画の数値目標に対しての現状を可能な限り定量的に評価されたい。
- 暑熱対策としても屋上緑化、壁面緑化が重要だが、一定規模以上の建物には義務化してでも進めていただきたい。
- 安全面を理由に街路樹を伐採されているが、植え替えされたい。

- 暑熱対策としてミスト装置や打ち水等、水の活用を検討されたい。
- この計画は大阪市民のものであり、市民に伝わりやすいような発信であったり、市民一人一人が何をすべきで、その取組で将来どのように変わるかというような内容も含まれたい。
- 気候変動への備えは、しっかり検討いただきたい。
- エネルギー使用量低減のために、どこで市民が痛みを我慢しなければならないのかの観点を取り入れることも必要である。
- 部門ごとの中で消費電力が多い物を調べ、どこにフォーカスすれば効果が大きいのか見極める必要がある。
- 脱炭素先行地域である御堂筋エリアの取組の効果を検証することで、パイロット事業として全体への活用を図られたい。
- 施策のアイデア出しには、部門ごとの計画に対する達成度を評価し、施策の不足か、施策が機能しなかったのか等検証しないとイケない。
- どのステークホルダーにどのような援助・協業してもらおう等、ターゲットの明確化が重要。
- 財源の活用にあたっては、集中投資によるイノベーションの視点で、公立大学が持つイノベーション支援と連携しながら、森之宮地区を御堂筋エリアに続く第2の脱炭素地域に育てるのも一案である。
- 公平や参画の視点で、大阪市のすべての世帯の方が支援の対象にできるもの、例えば、再生可能エネルギーの電力プランへの切り換え支援も一案である。
- 建材一体型の太陽光発電システムの導入に対し、一定規模以上の建物には義務化したり補助金を出し、ビル・まち全体での太陽光の取組を検討されたい。
- これまでの施策の評価を行い、国と大阪市とで排出量削減のトレンドが異なるとすれば何が強みで何が課題か、現在の施策の到達点、課題の分析をされたい。
- 環境問題だけでなく活力のある大阪市になるためには、カーボンプライシングや企業のサステナビリティ情報の開示といった国の重要な施策の動向を確認されたい。
- 2030年、2050年のゼロカーボンに向けては、支援だけでなく、規制と規律をしっかりとすることも検討されたい。
- どうやって、企業の皆さんも消費者も徹底した省エネを進めていけるかを検討されたい。
- 住宅建築物対策として、質の高い大阪市のインフラ作りを検討されたい。
- 事務事業編の改定も、区域施策編に関わる内容と思うが、市民・事業者にとってインセンティブになるような施策を検討されたい。
- 中小企業の排出量削減が全体の削減につながると思われる。財源は、中小企業の排出量削減につながるようなイノベーションの推進、投資に利用されたい。
- 削減効果の高い太陽光発電について、規制、誘導的な施策で強く進める必要がある。
- 質の高い都市のインフラとして、建物の断熱・気密対策を検討されたい。
- 大阪市の技術力を活かし、供給処理施設のポテンシャルを引き出した施策を検討されたい。